

【企画もの】

懐かしのメモ論

～小学生時代の誕生日プレゼントの定番
「メモ帳」を徹底分析！！～

■はじめに

私が小学生のとき、やたらと誕生日プレゼントにメモをもらいました。ですが、呑気に生きてきた小学生の私はたいしてメモしておかなければいけないようなこともなく、また友達との手紙交換も行っていなかったためにそのメモの山を使い切ることができず、いまだに勉強机の引き出しに陣取っています。その様々な種類のメモの特徴と共通点を探し、分類を試みてみました。

■メモ分類

■■タイプ1：ノート型



これは、その名の通りノートのようにめくっていくメモ帳である。キャラクターの形にメモ帳がかたどられている。私が持っているものは紙面全体にイラストが施されているために、キャラクターの顔の上だろうがどこだろうが所構わずにメモをする仕様となっている。

■■タイプ2：表紙なし型



これは、オーソドックスなメモ帳と大差はないのだが、メモ帳特有の固い表紙となるものが無い。そのかわり、すべてのメモ用紙の表が表紙のようなイラストが濃く描かれているので表の面にはメモすることができない。メモ帳としての役割を果たしているのは裏面である。

■■タイプ3：オーソドックス型



これは、誕生日プレゼントとしてもらうメモ帳のなかでは最もオーソドックスなタイプのメモ帳である。このメモ帳には主に二つのタイプのメモ用紙が入っている。罫線が引いてあるものと、引いていないものだ。この罫線が引いていないものなかでも二種類あり、ノート型でも紹介したイラストの上からメモするタイプのもの（写真ではドナルドダックとスティッチ）、そして濃く描かれたイラストの間の余白にメモする

タイプのもの（写真ではスヌーピーとリラックマ）である。メモ用紙としての役割をより果たしているのは前者であるが、小学生のメモ帳という前提であれば後者もありだなという印象を私は持っている。

■■タイプ4：折り畳み型



これは、折りたたむことでコンパクトにたくさんの種類のメモを収納することができるというタイプのもので、タイプ3の進化系のようなものである。あまりたくさん見る形ではなかったために、多少の特別感が私は気に入っていた。

■さいごに

ここまでメモ帳の分類を行ってきたが、キャラクターの好みを示すには非常に役に立ったものではないかと思う。私の持っているメモ帳の多くにキャラクターが描かれており、逆にそれが小学生のメモ帳という印象を与えている。私たちの周りから消えていったキャラクターのメモ帳を久しぶりに眺めて、改めてそこには幼少期ならではの社会があったなと感じることができた。

*

■本稿の書誌情報

本稿は無記名原稿

『文具に関する論考と企画：奈良女子大学文具ゼミ 2020』

〔2020 年度「文化社会学演習」WEB 版報告書〕 <https://bungu-narajo.org/>

2020 年 8 月 1 日 編集・発行 国立大学法人奈良女子大学文学部

人文社会学科文化メディア学コース 小川伸彦研究室編

〒630-8506 奈良市北魚屋西町 E-mail ogawanobuhiko@cc.nara-wu.ac.jp